

渡川水系広見川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

- 1 説明文
- (1) この図は、渡川水系広見川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
なお、家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水継続時間を表示した図面は、別図としています。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の広見川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により広見川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 愛媛県
 - (2) 指定年月日 令和2年6月5日
 - (3) 告示番号 愛媛県告示第646号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知河川 渡川水系広見川(実施区間)
左岸:北宇和郡鬼北町大字小倉464番3地先(轟橋上流50m)から
北宇和郡松野町大字蔵生1504番2地先(真土橋下流1100m)まで
右岸:北宇和郡鬼北町大字広見1038番地先(轟橋上流100m)から
北宇和郡松野町大字蔵生3番2地先(真土橋下流860m)まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 四万十川具同流域の48時間の総雨量859mm
 - (7) 関係市町 鬼北町、松野町
 - (8) その他計算条件等
氾濫区域を10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。



鬼北町

松野町

- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 0.5m未満の区域
 - 0.5m以上 3.0m未満の区域
 - 3.0m以上 5.0m未満の区域
 - 5.0m以上 10.0m未満の区域
 - 10.0m以上 20.0m未満の区域
- 浸水想定区域指定の対象となる水位周知河川

